

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471902500	事業の開始年月日	平成16年12月1日	
		指定年月日	平成16年12月1日	
法人名	株式会社 スマイル			
事業所名	スマイル住まいの横須賀大矢部			
所在地	(238-0024) 神奈川県横須賀市大矢部3-18-5			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成24年1月18日	評価結果 市町村受理日	平成24年4月23日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1471902500&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

誰が来てもちもちのいい接客を心掛け、「また来たい」と思って頂けるようなホームでありたい。気持ちのいい挨拶を心掛けるようにしています。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成24年2月23日	評価機関 評価決定日	平成24年4月6日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

京浜急行北久里浜から団地循環のバスに乗り、佐原橋バス停にて下車徒歩約3分の幹線道路から一本入った場所にあります。静かな環境にある2ユニットの認知症専用に設計されたホームです。理念に「暖かい心と高い技術をモットーに誠心誠意を尽くす」とあり、「職員が話しやすく、相談にすぐ対応してくれる」「ほのぼのとした雰囲気」など利用者家族から多くの満足の声が寄せられています。 <優れている点> 医療機関との連携で重度化・終末期の対応がとれる体制になっています。利用者家族とのコミュニケーションを重視し、ホームへの来訪がしやすい雰囲気をつくり全職員が接していることなどが挙げられます。 <工夫点> ユニット毎にメニューを作成して食材の買い入れ、料理を行い、おいしい食事を提供しています。 法人が毎年利用者家族のアンケートを詳細に行い、運営・サービスの改善に役立て、ご家族へ結果報告しています。施設長をはじめ、職員の熱意が感じられるホームです。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	スマイル住まいる横須賀大矢部
ユニット名	U1

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームでの行事、バーベキュー・避難訓練を行う際には近隣の方に連絡し共有と実践をしている。	法人理念の中に地域密着の考えを盛り込んでいます。グループホームの事業所理念を重要事項説明書、入居のしおりなどに明示しています。また月毎の目標、例えば2月は「十の心」を掲げ、職員の気持ちを引き締めています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の小学校の運動会・フェスティバル・音楽鑑賞や読み聞かせに行ったり交流を図っている。また体験学習の受け入れも行っている。	自治会には加入していませんが、近隣小学校との交流はあり、寄せ書きが廊下に貼ってあります。また中学校3校からの体験学習を受け入れています。近隣のスーパーとは顔なじみの関係ができています。	自治会への加入によって、より一層地域との関係が強化されると考えられます。加入の検討をすることも期待されます。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の小学校に行き認知症について話を行ったり、近隣のスーパーに行き顔馴染みになり挨拶をかわしている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	指摘事項があった場合は話し合い改善に向けての努力をしています。	年4回開催しています。参加メンバーは年1回は市担当者が参加していますが、その他は民生委員、ボランティアの方、ご家族の方々です。状況報告、行事報告などの他、ホーム運営についても意見交換を行っています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	報告書等は書面にてお知らせし実情の取組みなど連絡を取っています。	市、包括支援センターとは連絡がとれる状態です。民生委員は推進会議メンバーとして連携をとっています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は夜間帯以外常に開いている状態でどなたでも気軽に来られるようになっています。ホーム内でも個々にあわせ過ごせるようにしています。	身体拘束は行っていません。やむを得ず身体拘束の場合は同意書を家族からいただいています。現在感知センサーを5人の利用者が使用していますが、身体拘束はありません。	法人の研修計画の中の身体拘束関連の研修に職員も参加し、ホームで共有化をはかることも期待されます。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	小さい変化にも気づくよう観察し、周りにも目配りするように努力しています。	/	/
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	各々で理解し分からない事があったら聞くようにしています。	/	/
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	お客様・ご家族からの疑問や不安、質問などに耳を傾けその都度話し合いや説明を行い解決に向けて努力している。	/	/
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様・ご家族の方がいつでも気軽に話しかけられるような雰囲気を作るよう努めている。	毎年法人でご家族に健康管理、食事、ケアプラン、職員の対応、家族対応、生活の記録、笑顔などの項目でアンケート調査を実施し、グラフにまとめて結果を家族にも送り、運営への反映を図っています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング等で話し合うようにしています。	ユニットミーティング、全体会議などでの意見反映の他、日常のケアの中で気がついたことを気軽に書いて出せるよう、手帳サイズの「まる善シート」を作成し使用することを準備しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	一人一人の面談やフロアーのミーティングがあるので話し合い向上心が持てるようにしている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	なかなか研修に参加する機会は設けられていないが出られそうな研修には参加するようにしている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修や近隣のグループホームの方と話し合う機会を作っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居する前からご家族の困っている事本人の困っている事等聞き少しでも安心して生活出来る様にお手伝いしていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居される前からご家族の要望等を聞きそれに対し答えられるよう考えています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居されると全スタッフがその方の日々の生活を観察し問題点を共有出来るよう意見交換・行動の把握に努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様のADL、趣味、特技等を理解した上で出来る事をして頂き残存能力を活かしながら共同生活をしている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の生活の様子を毎月送ったり電話で直接お話ししたり面会時に報告するようにしています。行司にご家族を呼んだりもしています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室には今まで使用していた家具や布団を持って来ていただいています。またいつでもご面会に来られるようにしています。	昔からの友人が訪ねてきたり、手紙を出したり関係が途切れないように支援しています。またご家族と一緒に以前行っていたカラオケ等に出掛けたりもしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の相性を考慮しデイルームでの座席の位置を決め孤立しないように配慮しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設へ入居が決まった場合は必要な情報を提供したり面会に行くなどしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時にご本人様やご家族様の意見・意向を聞きそれに添える様に努めています。	入居時に本人、家族の意向を聞き、入居後も本人と話をしながら希望を聞いています。本人が希望を伝えられない場合、仕草や家族から情報を得ています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	お客様の生活歴を入居時にご家族様から伺ったり、入居されてからご本人様の話を聞き出し記録に残し全スタッフが把握出来るようにしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お客様の日々の暮らしに変化がないか等常に気を配り見ている。また、主治医や訪問看護師に変化があった場合は相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	月に一度ミーティングの場でカンファレンスを行い一人一人の状況の変化・様子につき話し合いをしている。参加出来なかったスタッフには回覧をしています。ご家族へも面会時に話を伺うようにしています。	月1回、出来るだけ職員全員が参加出来る夕方か夜にミーティングを行い、利用者の状態を話し合い、家族からは面会時に意向を聞き、介護計画を作成しています。	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	日々の様子で変化あった場合はその時いるスタッフで話し合い申し送ったりしています。内容により月1度のカンファレンスで話し合いも行っています。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	出来る事出来ないことを見極めお客様に合った支援をしています。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	一人一人の力量を見極め、把握し役割ごとを決め楽しみながら日々生活が送れるようにしている。		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	契約時にご家族と話し合いをし主治医を決めて頂いている。何かあった場合24時間いつでも連絡が取れる状態で必要な支援が受けられるようにしている。	月1回内科医、月2回精神科医の往診があり、現在は利用者の希望で全員往診医をかかりつけ医としての受診をしています。緊急時は往診医、看護師と連絡が取れる体制になっています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	お客様の体調、様子の変化が見られた時は訪問看護師等に連絡を取り適切な処置が受けられるようにしています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合面会に行ったり、電話にてお客様の状態、状況を聞くようにしています。必要に応じサマリーを作成しています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	お客様、ご家族の意見を聞き入れ、主治医・スタッフ・ご家族等で話し合いその方にとって良い方法で話を進めて行きます。必要に応じ主治医に来て頂き勉強会を設けています。	現段階で看取り介護迄希望されるかどうかの意向を聞いています。その状態になった時、主治医や関係者と話し合い、可能な限り看取り介護迄していく方針です。今迄に数名の方をホームで看取っています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	CPRの訓練を毎朝朝礼時に行っています。社内での救急救命の講習会があり参加可能なスタッフは参加している。出来なかったスタッフには回覧するようにしています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行うようにしている。消防署の方にも声を掛け参加して頂いている。	消火訓練は年2回実施しています。東日本大震災時に停電があったこともあり、電池、ランプ、懐中電灯、ガスコンロなどを補強しています。	夜間時を想定した避難訓練は現在のところ行っていません。利用者を外部への誘導するための職員の動員体制や近隣施設からの支援体制等検討し、訓練計画作成と訓練実施が期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様を敬うような丁寧な言葉遣いをして行くよう努めています。	月1回のミーティングで、利用者を尊敬した言葉使いや、声掛けをするよう管理者が指導しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様の意思が尊重出来るような声掛けをしたりお手伝いをさせて頂いています。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを尊重しつつも昼夜逆転を防ぐよう昼間の休息をこちらで決めてしまっている部分はあります。希望はお聞きしつつその希望に添える様に過ごして頂けるよう努めています。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみが保てるように声掛け一部介助し支援しています。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みを尊重し苦手な物の場合その方は違う食べ物で対応しています。食事の準備等もなるべくお手伝いして頂ける事はして頂いています。	買物、献立、調理は職員が交代でしています。利用者の好みをできるだけ取り入れ、食べられない物は違う食べ物に替えたり、状態によりミキサー食の提供をしています。野菜を切ったり盛り付け等利用者に手伝ってもらっています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お客様一人一人に合わせ摂取して頂いています。また状態の把握をしています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お客様に合った方法でケアしています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お客様の状態により、声掛けし誘導を行っています。	昼間は排泄チェック表の排泄パターンを把握し、プライバシーに配慮しながら声掛けトイレ誘導をしています。バルーンカテーテルの利用者が数名います。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の状態に応じ便秘に効きそうな物を試しています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	お客様のペース・入浴方法に合わせて入浴して頂いています。また季節により柚子湯や菖蒲湯を行っています。	浴室は檜張りで、浴槽も大きめの檜の浴槽で、入浴は利用者のペースに合わせて対応しています。毎日の入浴も可能です。ゆず湯、しょうぶ湯、ミカン湯等入浴を楽しめるような工夫もしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の状態に合わせ、安心して眠れるようお手伝いしています。少しでも安心して休息できるように声掛け行っています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の状態や変化に気が付くように常に様子観察や見守りをしています。状態によっては主治医・訪問看護師に連絡・相談を行っています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々のお客様に合う生活歴や楽しみ毎の希望に添えるように努めています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お客様の希望に添える様に外出支援をしています。	お天気の良い日は散歩に車いすの利用者も一緒に出掛けます。月1回全員でワゴン車で湘南海岸をドライブしたり、初詣に行ったりの遠出をしています。また年1回法人が企画した日帰りや一泊旅行に希望者は参加しています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お客様の希望によりお金を持って頂きお買い物をする事があります。常にご利用の方に合わせた対応に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望するお客様にはご本人自ら電話をして頂きます。お手紙を出されるお客様には必要な援助をしています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合ったお花を植えたり活けたりしています。お客様の混乱を少しでも防げるような対応をしています。	居間を中心に居室を配置し、オープンキッチンにしてまとまりのいい共有空間となっています。居間の床と浴室床は床暖房仕様とし、今年の冬の乾燥対応で新しく大型加湿器を設置します。現在は節電のため、照明をやや暗めに押さえています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お客様が好きな時に好きな所へ行ける様にしています。廊下にはソファや椅子が置いてあり個々に過ごせるようになっています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家庭で使用していたものを持って来て頂き自宅と同じような環境にしています。	居室は8畳程の大きさで、大きな押入れと洗面台があり、入口はバリアフリーとなっています。居室の掃除は毎朝職員が手伝って行っています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の出来る事を把握し、家事・掃除・炊事等のお手伝いをして頂いています。		

事業所名	スマイル住まいる横須賀大矢部
ユニット名	U2

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り掲示し実践に心掛けている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の小学校の運動会・フェスティバル・音楽鑑賞や読み聞かせに行ったり交流を図っている。また体験学習の受け入れも行っている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の小学校に行き認知症について話を行ったり、近隣のスーパーに行き顔馴染みになり挨拶をかわしている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	指摘事項があった場合には話し合いをし改善に向けて取り組んでいきます。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	報告書等は書面にてお知らせし実情の取組みなど連絡を取っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>高齢者虐待防止法に関する資料を回覧し周知している。夜間のみ防犯の為施錠しています。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>資料を回覧しスタッフに周知を図っており注意を心掛けていきます。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>各々で理解し分からない事があったら聞くようにしています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時にご家族へ説明同意を行っている。お客様へは分かり答えられる範囲で行っています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>外部評価の他に会社独自でご家族へアンケートを送り集計し結果を回覧している。必要に応じ話し合いを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング等で話し合うようにしています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々で責任感を持ち業務に取り組む努力をしている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内での研修はありますがなかなか受ける機会がありません。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修や近隣のグループホームの方と話し合う機会を作っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居する前からご家族の困っている事本人の困っている事等聞き少しでも安心して生活出来る様にお手伝いしていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時ご家族等に話を伺い要望など聞いています。入居してからは記録に付けスタッフに周知しています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、お客様に話を伺い様子を観察し何が必要か見極め支援しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様のADL、趣味、特技等を理解した上で出来る事をして頂き残存能力を活かしながら共同生活をしている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の生活の様子を毎月送ったり電話で直接お話ししたり面会時に報告するようにしています。行司にご家族を呼んだりもしています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙のやり取りや電話にて直接ご本人様と話が出来ない方でもスタッフが間に入り現状を話すこともあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の相性を考慮しDルームでの座席の位置を決め孤立しないように配慮しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に行かれた場合はサマリー等私必要に応じ連絡を取っています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時にご本人様やご家族様の意見・意向を聞きそれに添える様に努めています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の記録に目を通し、生活暦や今までの暮らし方、個々での様子を観察し把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の1日の暮らし方を把握し安心して過ごせるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>付きどのカンファレンスを行いお客様の現状について話を伺い、面会時にはご家族様にも話を伺うようにしています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子を記録し何か変わった事があつたら経過記録に書きノートにも残しています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>出来る事出来ないことを見極めお客様に合った支援をしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>一人一人持っている力が発揮出来るように努め安心して暮らせるように努めています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>契約時にご家族と話し合いをし主治医を決めて頂いている。何かあった場合24時間いつでも連絡が取れる状態で必要な支援が受けられるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	何か変化あった時は常に連絡を取りケアに取り組み密な関係をきづけるように心掛けています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時は病院側・ご家族と連絡をとり情報の共有を図っています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	お客様、ご家族の意見を聞き入れ、主治医・スタッフ・ご家族等で話し合いその方にとって良い方法で話を進めて行きます。必要に応じ主治医に来て頂き勉強会を設けています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎朝の朝礼時にCPRを実施しています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行うようにしている。消防署の方にも声を掛け参加して頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自尊心を尊重しお客様を敬う気持ちを持ち声掛けを行っています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の中でお客様の思いや表情や言動を見て汲み取れるように努力しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様一人一人の1日の様子を把握し希望の活動が出来るように努めています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみが保てるように声掛け一部介助し支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方には日々の食事の準備や片付けをして頂いております。状況を見て行って頂けそうな方には行って頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	水分チェック表を使い水分の把握に努め足りない方には個別対応しています。		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	ご自分で行える方には行って頂き困難な方には介助し清潔の保持に努めています。		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	排泄チェック表を付けトイレの間隔を見て必要な方には誘導をしています。		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	水分量や乳製品を摂って頂き予防に努めています。		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	個々の希望に応じ対応しています。季節により柚子湯や菖蒲湯を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の状態に合わせ、安心して眠れるようお手伝いしています。少しでも安心して休息できるように声掛け行っています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の目的や状況の変化に気が付けるように日々観察を行い支援しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の状態に合わせた役割や支援に努め買い物や散歩その他に月に1度は外出や行事の場を設けるようにしています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様にも協力して頂き外出や外泊をするお客様もいます。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お客様の希望によりお金を持って頂きお買い物をする事があります。常にその方に合わせた対応に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お客様の要望に応じ電話を掛けたり手紙、年賀状を出したりしています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を味わって頂くようフロアの飾りつけを行ったりしています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お客様が好きな時に好きな所へ行ける様にしています。廊下にはソファや椅子が置いてあり個々に過ごせるようになっています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家庭で使用していたものを持って来て頂き自宅と同じような環境にしています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の出来る事を把握し、家事・掃除・炊事等のお手伝いをして頂いています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	震災・災害時の対応	火災想定避難訓練だけでなく震災想定避難訓練も行う。	避難訓練は定期的に行っているが、夜間想定や震災想定避難訓練は行っていないので定期的に行うようにする。	6ヶ月
2	18	外出支援	一人一人したい事への外出支援を行う。	月1度の外出支援や行事は行うように心掛けていますが個々に楽しめるような外出をして行く。	3ヶ月
3	2	地域との交流	地域の方との交流をもっと図るようにする。	ベルマーク集めを行い近隣の小学校に届けに行くようにします。また町内との関わりを持つようにします。災害時手を貸していただけるように。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。